

- ・地域に根ざしたトータル医療の提供
- ・生活習慣病や高齢化社会に対応した医療の提供
- ・予防医療の推進
- ・プライマリケアの実現
- ・ゆとりある空間の提供
- ・明るかで明るい職場づくり



紫陽花(新宿御苑にて) 撮影：霜鳥 孝 院長



チーム

医療技術部 部長代理 阿部 啓 司

この号が発刊されるころには、第89回全国高等学校野球選手権大会の各県代表が決まっていることと思います。昨年の大会は早稲田実業の斎藤君や駒大苫小牧高校の田中君などの活躍もあり大いに盛り上がった大会でした。高校野球は夏の甲子園大会が注目されますが、そこに出場できるのは全国4、100校余りの中から49校、新潟県で言えば96校のうち1校だけです。

さて、49校を決めるための予選大会を見てみると、地方球場にも甲子園球場に勝るとも劣らない懸命なプレーや必死の応援に出会うことが出来ます。残念ながらベンチ入り出来なかった部員もいるのですから、気の抜けたプレーなど絶対に許されず、それは選ばれし者の当然の姿勢なのです。そして暑い日も、雨や雪の日も一緒に練習した仲間たちだから、監督と一緒に怒られた友達だからこそ応援だって熱いのです。そして付け加えさせてただけるなら、こっそりと験を担ぎ、神頼みをしている親たちも、やっぱり熱い。皆、想いは一つ、勝利なのです。

さて、病院も色々な職種の人たちがチームで医療サービスを提供しています。私が所属している医療技術部には放射線科、リハビリテーション科、MEセンター、栄養科、中央検査科などがあり、色々な検査機械や治療機器を駆使する現代の医療には欠かせない技術者集団です。そしてスタッフそれぞれが自分の役割を果たすことで、また協調することでトータルとして強いチーム、質の高い安全な医療を提供できる臨港病院でいられるでしょう。

本塁とピッチャーズプレートとの距離18.44m、塁間27.43m。この距離が絶妙なのです。遠すぎても近すぎてもきつとドラマは起きないのでは？はたしてこの夏はどんなドラマが…。栄冠は誰の手…。

「第1回 大腿骨頸部骨折

術後ケア研究会」を開催

去る6月8日、当院が協力医療機関となっている高齢者介護施設および近隣の福祉施設の職員様を対象に、高齢者に多く、寝たきりの原因になりやすい「大腿骨頸部骨折」の手術後の看護・リハビリをテーマとしたセミナーを開催し、多数のご参加をいただきました。

トレーニングを行い、また帝人ファーマ(株)の協力にて転倒時防護用具の説明・展示もあり、いずれも参加者の好評をいただきました。

「地域医療福祉連携会議」は初めての試みでしたが、当院では「地域に貢献する病院」として、このような連携ケアに関する取り組みを今後も随時実施し、近隣の福祉施設様との連携を一層深めていきたいと考えております。

の講義やリハビリテーションのデモンス

(整形外科 湊 泉)



INFORMATION (お知らせ)

●新任医師をご紹介します



大澤 豊 医師
(内科)

7月から当院にて仕事を始めさせていただいている大澤です。

電子カルテシステムから紙カルテに戻って、歯がゆさと懐かしさを同時に味わっています。

変革の途上と思いますが、一番やりやすい方法に落ち着きたいです。



坂井 邦彦 医師
(内科)

7月に西新潟中央病院から転任してきました。呼吸器を専門としております。

前任の中俣先生に比べ、経験不足の面があり、同様というわけにはいきませんが、自分なりにやってみようと思います。よろしくお願いします。

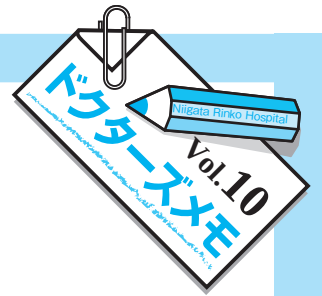
●複数科の外来受診について

- ①予約及び当日受付の受診は2科までとさせていただきます。
 - ②当日受付で2科受診される方は10時30分までに受付をお願いいたします。
- <6月1日より変更しました>

●眼科外来診療日追加

7月より「水曜日午前」の診療を開始しました。
これにより眼科の診療日は、月・水・木・金曜（いずれも午前のみ）となります。

●8月13日(月)は、当院外来全科休診となります。御了承下さい。



たばこを止めたい方へ

ーたばこが楽に止められる方法ー

内科医師 風間 咲美

先日、「世界禁煙デー」にあわせて企画を組むということで、あるテレビ局の取材を受けました。私はその中で、禁煙の方法やそれにかかる費用につき話すことになりました。朝一番に事務次長より、「本日3時に取材に来ます」との連絡を受け、午前中の通常の業務終了後、準備に取りかかり、医事課や薬剤部および調剤薬局さんの協力を得て、どうにか時間までに資料を揃えることができました。取材は1時間以上に及び、その中で、なぜ、禁煙が難しいから始まり、方法は勿論、日常生活における注意点などを懇切丁寧に説明しました。さて、翌日の放映日には、私は残念ながら間に合わず、見ることはできませんでしたが、見て下さった方々の話を総合すると、印象に残っていることは「臨港病院

は禁煙の保険診療ができない」ということと「ニコチンパッチ」の2点でした。

このニコチンパッチですが、1年ほど前から健康保険の適応となり、これを使った禁煙指導が、これに対する保険診療の可能な施設では全部で1万円程でできるようになりました。

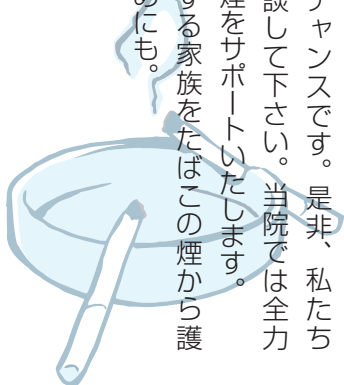
さて、皆さんの中にはたばこをやめたいと考えている方がいらっしやるかもしれません。やめたいと思いながら吸い続けている人が意外に多いと聞きます。そこで、禁煙の方法について簡単に説明したいと思います。一般に、たばこはやめにくいといわれますが、これは必ずしも本人の意志が弱いというわけではありません。たばこにはそれをやめにくくするニコチンという成分が含まれており、たばこを

吸わないでいると、イライラするといった不快な症状があらわれますが、それは体の中からニコチンが抜けていくためなのです。そこで、ニコチンを少量ずつ身体から吸収させることにより、この不快な症状を和らげ、禁煙しやすくなるという治療が現在行われており、その代表がニコチンパッチなのです。

このほかにニコチンガムもあり、これはニコチンパッチによる治療が医療機関を受診しなくてはならないのに対し、医師の処方箋がなくても購入できます。これらの方法により、比較的楽に禁煙できるようになりましたが、このニコチンを少しずつ体に入れる方法のみで完全にたばこをやめられるとは限りません。目覚めた時や食事の後といった、今までたばこを吸っ

ていた状況になると、吸わずにいられなくなる、また、習慣的にたばこに手がのびてしまうということがあります。こういった今までの習慣を変えていくのは意外に大変です。このような場合には、これを自分に合った方法で、たばこ以外のもので乗り切ることが必要となります。今までに禁煙に成功した方々のうち多かったのは飴やガムを口にするやり方ですが、人それぞれ工夫次第です。

思い立ったら吉日といいますが、たばこをやめたいと少しでも思ったらチャンスです。是非、私たちに相談して下さい。当院では全力で禁煙をサポートいたします。愛する家族をたばこの煙から護るためにも。



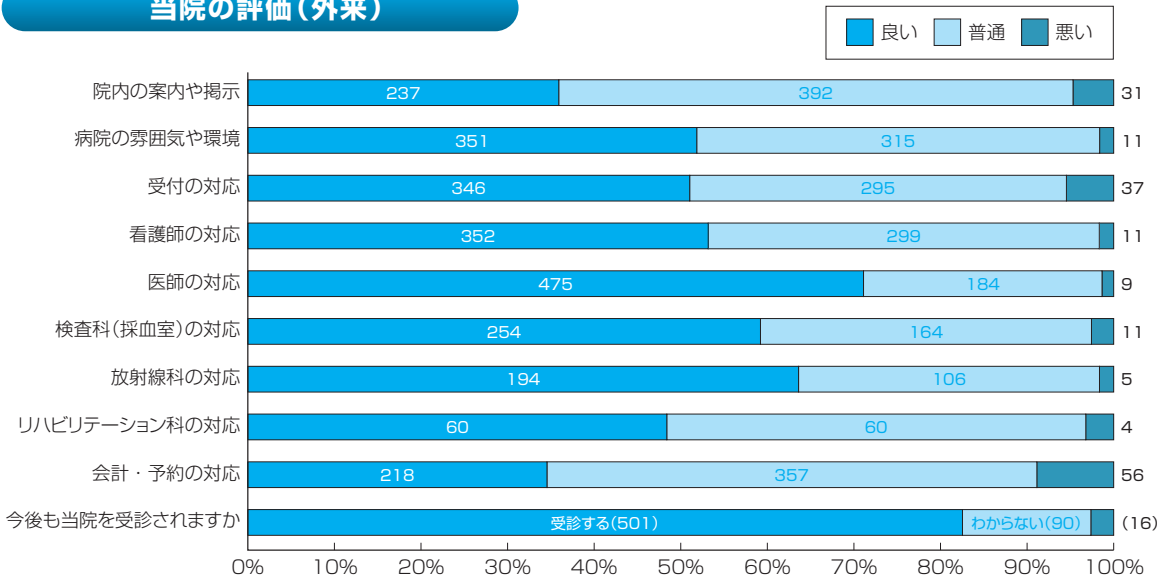
サービス向上委員会より

第2回外来アンケート調査の結果について

前回は平成17年4月4日から6日間行いましたが、この度は平成19年4月2日から28日まで、ほぼ同様の質問内容で実施しました。今回は私ども委員がアンケートの配布・記入・回収などのお手伝いはせず、診察医が直接患者さんに用紙を手渡し記入していただきました(期間の前半のみ)。回答数は前回の710通には及ばないものの686通でした。回答者の年齢構成は前回と変わらず、受診科では内科が増えています(前回46%、今回65%)。回答の内容は「医師の対応について」をはじめ概ね良い評価で、前回評価の芳しくなかった「院内の案内や掲示がわかりにくい」も5%と前回より9ポイント改善しています。しかし「受付・会計・予約の対応が悪い」が前回同様6～9%と高く、特に会計業務についてはオーダーリングシステムの導入を急ぎ改善を図る必要があります。またいろいろなご意見も記入されておりましたので、それらも参考にさせていただきより良い外来診療が出来るよう努力したいと思います。

サービス向上委員会 委員長 寺田 治男

当院の評価(外来)



病院ボランティア活動開始



5月7日の活動開始式にて

前号でもお知らせしましたが、地域の有志の皆様による「病院ボランティア」の活動が5月7日から始まっています。ボランティアの皆さんは、介護職歴を持つ方や、初心者であっても所定の講習を受けた方です。

外来診療日の午前中、エントランスを中心に「車椅子やストレッチャー(寝台)の介助」「書字困難な方の書類代筆」「自動支払時の操作案内・補助」など、さまざまなお手伝いをして下さっています。来院時お困りのことがありましたら、ピンクのエプロンのボランティアに気軽に声をお掛け下さい。

今後、活動者の少ない曜日については、追加の募集を行います。ボランティアに興味・関心のある方は、お気軽に当院医療相談室(電話 271-9675[直通])までお問合せ下さい。

臨港病院探検隊



3階病棟(療養病棟)

看護師長 金田 豊子

当療養病棟は、平成12年6月の旧病院時代に23床で新設した病棟です。同年8月に43床に増床となり、平成16年4月には、今の新病院に移転後更に49床に増床しました。医師1名、看護師13名、ケアワーカー16名で患者様の医療、看護、介護に努めています。

当病棟の対象者は治療を継続しながらも状態の安定した方や在宅までの療養目的の方々です。そのような方々に対して、寝たきりや筋力低下を予防し、身体機能・精神機能の維持向上を目指し、日々援助をしています。

援助の内容としては日常の生活に視点を置いたものが中心となります。食事の時間には患者様には積極的にベットを離れていただき、デイリールームに揃って、楽しく食事ができるようにしています。また定期的に茶話会を開催し、レクリエーションなどで楽しい時間作りを工夫しています。



自慢の設備として浴室とテラスと庭園があります。浴室は大きな窓から青空が眺望できます。足の悪い方や寝たままの方でもゆったりとリラクセスして入浴できます。テラスは病棟から直接車椅子で出ることができ、庭園でも天気の良い日には芝生の香りの中で散歩ができます。

病院の中でも当病棟はゆったりと時間が流れ、患者様もゆったりとしたペースで療養生活を過ごすことができます。

私たち職員は患者様が元気になる、笑顔が増える度に仕事に対するやりがいを感じ、頑張っている毎日です。

健康コラム 2



高齢者の 低栄養を防ぐ 食生活ポイント

栄養科 科長代理 吉田 絹子

生活習慣病の予防で過食や塩分、脂肪の摂りすぎを控えるなど、食事の制限が必要な場合も少なくありません。しかし、高齢期を迎え、明らかにやせすぎなのに食べすぎを心配したり、減塩のために食欲不振になったりすると、低栄養状態を助長したりします。

低栄養状態になると、筋肉や内臓などの働きが衰え、毎日を活動的に過ごせなくなり、免疫力が低下して感染症などにもかかりやすくなります。また、病気になる回復が遅く、薬も効きにくくなるなど問題が生じます。

低栄養状態の判断としてはBMIが18.5以下、血清アルブミン値が3.5g/dl以下などが危険信号となります。BMIは、体重(kg)÷身長(m)÷身長(m)で計算します。

そこで

低栄養を防ぐポイント

①欠食をしない

食事を抜いてしまうと1日に必要なエネルギーやたんぱく質を補うことが難しくなります。食が進まないときは1回の食事を減らして、1日4～5回に分けて食べましょう。

②食事時間を規則正しく

1日の生活リズムが胃腸の動きを整え、食欲を高めます。

③家族や仲間と楽しく食べる

できるだけ1日1回は家族や友人と30分以上かけて食事を摂りましょう。

④主食を忘れずに

ご飯、パン、麺類は1日を活動的に過ごすエネルギー源です。

⑤主菜をしっかり摂る

肉、魚、卵、大豆製品などのたんぱく質を含む主菜を毎食1品は摂りましょう。

⑥牛乳、乳製品を毎日摂る

カルシウムが補えます。

⑦咀嚼、嚥下機能にあった食べ方をする。

義歯や噛み合わせの調節、刻み食、とろみをつけるなど、食べやすくする工夫をしましょう。

低栄養を防ぎ、いつまでも食べる楽しみを忘れず、
毎日をいきいきと過ごしましょう!!

新潟臨港病院 診療案内

平成19年7月現在



当院は(財)日本医療機能評価機構の医療機能評価認定病院です

診療科	時間帯	受付時間	月	火	水	木	金	第2土	第4土	第5土
内 科 〈 〉は専門外来	午 前	8:30～11:30	—	—	—	—	—	霜鳥※	—	—
			藤 田	藤 田	藤 田	藤 田	—	—	—	—
			風 間	鈴木(裕)	上 原	上 原	鈴木(裕)	上 原	大学医師	鈴木(裕)
			大澤※	大澤※	小柳※	小柳※	小柳※	大澤※	—	大澤※
			大学医師	坂 井	大学医師	坂 井	大学医師	大学医師〈睡眠時無呼吸症候群(SAS)外来〉	—	—
			寺 田	寺 田	霜鳥※	寺 田	寺 田	寺 田	寺 田	霜鳥※
			岡 田	—	—	岡 田	—	星 野	星 野	—
			—	—	中 俣	—	—	—	—	—
	午後※	予約制	※霜鳥医師・小柳医師・大澤医師の診察は9:30から							
			—	—	—	風 間	岡 田	—		
			小 柳	小柳※	大 澤	—	—			
			—	—	—	—	坂 井			
			霜 鳥	寺 田	—	寺 田	—			
	夕方※	15:30～16:30	※午後(月～金)の診療時間は13:30～16:00 ※火曜(小柳医師)は隔週					—		
寺 田			—	坂井／霜鳥	—	大澤／小柳				
※夕方(月・水・金)の診療時間は16:00～										
外科・肛門科	午 前	8:30～11:30	小 林	北 見	畠 山	小 林	畠 山	北 見	畠 山	北 見
			飯合10:00～	小林※	大学医師※	北見※	北見※	—	—	—
			※小林医師・大学医師(火・水)の診察は11:00から ※北見医師(木・金)の診察は10:30から							
整形外科	午 前	8:30～11:30	鈴木(順)	外 山	鈴木(順)	鈴木(順)	鈴木(順)	鈴木(順)※ 湊※ 外山※ ※土曜日診療医師は交代		
			湊	湊	外 山	湊	外 山			
眼 科	午 前	8:30～11:30	大学医師	—	大学医師	大学医師	大学医師	—		
産婦人科	午 前	8:30～11:30	西 山	西 山	西 山	西 山	西 山	西 山	西 山	西 山
	午後※	13:00～16:30	—	西 山	西 山	西 山	—	—		
			※午後(火～木)の診療時間は14:00～16:30							
皮 膚 科	午 前	8:30～11:30	—	坂 本	坂 本	—	坂 本	—		
脳 外 科	午 前	8:30～11:00	—	—	—	—	大学医師	—		
歯科口腔外科	午 前	8:30～11:30	岡 野	岡 野	岡 野	岡 野	岡 野	岡 野	岡 野	岡 野
	午後※	13:00～16:30	岡 野	岡 野	大学医師	岡 野	*岡野	—		
			※午後の診療時間は14:00～16:30 *第4金曜日午後休診							
泌尿器科	午 前	8:30～11:30	—	大学医師	—	大学医師	—	—		
耳鼻咽喉科	午 前	8:30～11:00	—	—	—	—	—	大学医師	大学医師	大学医師
	午後※	13:00～16:00	—	—	大学医師	—	大学医師	—		
			※午後(水・金)の診療時間は13:30～16:00							

・当日受付で2科受診される方は10:30までに受付においでください。

～当院の外来休診日～ ・第1・3土曜日 ・日曜、祝祭日 ・土曜の午後 ・年末年始(12/30～1/3) ・創立記念日の午後(5月22日) ・8月13日

新潟臨港病院 広報誌 みなと No.10

■発行：平成19年(2007年)7月25日
 ■編集：新潟臨港病院 広報委員会
 〒950-0051 新潟市東区桃山町1丁目114番地3
 TEL 025-274-5331(代) FAX 025-274-4560
 URL <http://www.rinko-hp.com>

ご意見・ご感想など大募集!

当広報誌では、読者の皆様からのご意見やご感想をお待ちしております。
 お気軽に広報委員会までお寄せ下さい。

「みなと」第10号をお届けします。
 編集もひと段落終えた7月16日、
 「災害は忘れた頃に…」という言葉
 とは裏腹に、「忘れもしない間に」再
 び県内で震災が起きてしまいました。
 被害にあわれた方、柏崎など被災
 地方方面にご親類や知人のおられる
 皆様へ、心よりお見舞いを申し上げます。
 猛暑が予想されている今夏…被災
 された皆様はもとより、本誌をお
 読み下さっている皆様におかれまし
 て、脱水や熱中症など体調異変に
 はくれぐれもお気をつけ下さるよ
 う、祈念いたします。
 次号は10月25日発行の予定です。
 (S)

編集後記